



令和6年産に向けて 農薬・肥料のご紹介

農業経営支援課 渡辺 彰人

来年の栽培に向けて準備を始めている人も多いと思います。近年はイネカメムシの多発もあり斑点米カメムシによる等級低下が多く、真夏の高温障害による心白粒、腹白粒も増えています。おすすめの農薬や肥料を参考にしてください。令和6年産に向けて万全の準備を行いましょ。

カメムシ類の防除

近年、イネカメムシの発生が目立っています。出穂期直前からの2〜3回防除を徹底しましょう！

【散布剤】

・エミリアフロブル

使用時期…収穫7日前まで 希釈倍率…1000倍
使用回数…2回以内

適用害虫…ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類
新規有効成分がウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類に高い効果を発揮します。

※登録作物が水稻のみとなっています。散布の際は飛散（ドリフト）に注意して下さい。

【粒剤】

・スタークル豆つぶ 250g

使用時期…収穫7日前まで 使用量…250g/10a
使用回数…3回以内

適用害虫…カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ
カメムシ類に対する吸汁阻害効果を有し、効率的な斑点米抑制効果が期待できます。

異常気象に負けない米作りのために

近年の異常高温の中で収量の増加や良質な米を生産する為には地力の有無や根張りが大切です。根張りを良くし、茎や葉を丈夫にして倒伏防止、病害虫の軽減、登熟向上に役立つケイ酸を含む土壌改良材を施用し土づくりを行いましょ。

【土壌改良材】

・けい酸加里プレミア 34

ケイ酸34%、カリ20%、苦土4%、ホウ素0.1%
施用量（10aあたり） 2〜3袋

ケイ酸とカリの作用により根の活性を高め、高温障害を低減する効果が期待できます。